

令和元年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 令和元年度事業活動の概要

① 授賞式

令和元年度（第9期）事業年度は、冒頭4月の授賞者発表に続き、6月4日に第7回授賞式をフランス大使館公邸にて挙行了しました。

② 論文募集告知活動

また財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部80カ所、大学医学部呼吸器科等514カ所、がんセンター20カ所、がんセンター呼吸器他115カ所、がん拠点病院326カ所、疫学他26カ所の合計1,081カ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7月～9月の募集期間を経て、10月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3月下旬に第8回受賞者を決定しました。2019年度の応募総数は25篇と昨年の23編を上回りました。例年と異なり、公募開始直後の応募が多数見受けられました。

※参考（2012年16篇、2013年8篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇、2017年19篇、2018年23篇）

④ 日仏小児がん国際ワークショップへの協賛

国立がん研究センター（NCC）とフランスの国立がん研究センター（INCa）との共同による国際ワークショップへの協賛を行いました。

⑤ 豊島区及び関連団体との連携による癌撲滅、癌治療に関する啓蒙活動

(1) 豊島区等との連携による公開講座の開催

豊島区内で地域包括ケアや地域保健福祉の自主勉強会を主宰している「あうるへるすの会」との共催（後援：豊島区、豊島区医師会他）により、喫煙に伴い発症するリスクの高い心筋梗塞時のAEDを使った心肺蘇生法普及のための公開講座を実施いたしました。

(2) 兵庫県を中心にAEDの普及・啓蒙活動を行っている団体への助成

喫煙による心筋梗塞のリスク増大に留まらず、様々な場面で心停止に陥った際の初期処置として有効なAEDを使った心肺蘇生が広まりつつある中、「健康スポーツ関連施設連絡協議会」が主催する「AEDを使用した心肺蘇生法普及500人講習会（兵庫県播磨町）」の開催経費を補助いたしました。

⑥ 公益変更認定

令和元年11月18日付で内閣府宛に提出した公益変更認定申請につき、令和2年2月7日付をもって認可を得て、定款の一部を変更しました。このことにより、

(1)癌撲滅に寄与する研究者の国際間交流のための助成（エクスペラシオン・ジャパン及びエクスペラシオン・フランス）、(2)癌撲滅に関する専門家を対象とした講演会、セミナー、シンポジウムの開催・共催等の2つについて、公益事業として実施することができるようになりました。

II. 第8回(2019年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

下條正仁氏 Masahito SHIMOJO, Ph.D.

大阪大学大学院薬学研究科 特任准教授

【該当論文】

小細胞肺癌治療を目的とした SRRM4 標的ギャップマー型アンチセンス核酸医薬の開発

「後藤喜代子・ポールブルダリ特別賞」

工藤勇人 Yujin KUDO, MD, Ph.D.

東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野 助教

【該当論文】

非小細胞肺癌脳転移における抑制された免疫微小環境および TCR レパトア解析

III. 理事会・評議員会の開催状況

第35回理事会 令和元年5月22日

第17回評議員会 令和元年6月18日

第36回理事会 令和元年11月5日（持ち回り決議にて）

第18回評議員会 令和元年11月11日（持ち回り決議にて）

第37回理事会 令和2年3月17日（持ち回り決議にて）

以上

令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度事業報告の附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会